



# 私のひとりごと

## 癒やしスポット

長く寒い冬が、ようやく終わりを告げようとしている。どれほど春を待ち焦がれていたか……。私が春を待ち焦がれる理由は、我が家の三匹の猫と密接な関係にある。我が家の玄関引戸は猫達により一年中 15センチ程開いている。爪を引っ掛け器用に開けるのだ。もちろん、真冬であってもお構いなしである。「だったら、鍵を掛ければ？」とおしゃるだろうが、世の中そう甘くはない。

私は、昔から家庭を顧みず仕事ばかりして来た。そんな行き届かない私に代わって、長年家内を癒やしてくれたのが、三匹の猫達。家内にとって、人間のように大切な（私よりも!?!）家族であることは言うまでもない。そんな大切な猫達であるが、猫は元々夜行性。夜中に何度となく外出をするが、そんなお出かけを阻止し、鍵を掛ける様な行為を我が家では許されるはずがない。

ガンガンにストーブを焚いた居間から、まず一匹目が器用に戸を開けお出かけになるが、閉めることはしない。玄関の戸を開ければ冷気が舞い込み、慌てて私が閉めに行く。



続いて二匹目も同じ行動をし、またもや私が閉めに行く。今度は三匹目。三匹目は甘やかされて育ったせいなのか、もはや自分で開けようともせず、開けてくれるまで戸の前で「ニャーン……、ニャーン……」と訴えかける様に延々と鳴き続けるのだ。そうすると家内が「あ〜ら、チロ（猫の名前）ちゃん。お出かけするの〜。」と、私など掛けてもらった事のないような!? 猫なで声で開けに行く。

しばらくすると、三匹が時間差攻撃でお帰りになり、その都度、私は同じ行動となる。こんな事が一夜のうちに何度か繰り返される。夜中には0℃を下回る真冬に、これではさすがにたまらない。

それだけならまだしも、寝静まった頃に、夜の訪問者もある。まず一匹目の野良猫が忍び込み、家の中を物色し始める。続いて、二匹目の野良猫が忍び込み、物色中の一匹目とはち合わせになり、上や下への大騒ぎ。我が家の三匹はすっかり怖気づいて、じっと身を潜めて嵐が過ぎ去るのを待つ。こんな事もちらほら。

そんな厳しい冬の中でも、私が見つけた癒やしスポットがある。車で5分程走ったところにある、Aコープの自販機でのホットコーヒー。



まだ薄暗い早朝6時過ぎ。自販機の前に立つと、「いらっしゃい!いらっしゃい!」と朝にしてはテンション高めの声。お金を入れると、「いらっしゃいませ。」と、丁寧な挨拶が変わる。「たく〜、げんきなやっちゃ〜。」と思いつつも、お好みのボタンを押すと「ありがとうございました〜!」とのお礼の言葉。最後に「行ってらっしゃい!」と明るく後押しまでしてくれる。あ〜……その一言で、全ての苦勞!?!は報われる。世の奥様方、旦那さまに教えてあげて下さい。意外な所に、癒やしスポットはあるものだと。自販機の前で会えるのを楽しみにしています。

でも明日あたり、行列が出来ていたらどうしよう……。 (笑)

ではまた来月もお会いしましょう。  
今月も最後まで読んでいただき……、

あーッぱい  
ございました!!

